



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月9日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部  
 コード番号 4694 URL <http://www.bml.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荒井 裕  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員 経営企画部長 (氏名)福田 和太 TEL (03)3350-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	20,828	2.3	2,340	14.4	2,385	12.9	1,290	12.3
22年3月期第1四半期	20,351	2.9	2,046	17.0	2,112	14.9	1,149	20.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	60 80	60 67
22年3月期第1四半期	54 14	54 03

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	68,280	45,239	65.2	2,095 76
22年3月期	67,517	44,518	64.8	2,061 12

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 44,493百万円 22年3月期 43,751百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	15 00	—	25 00	40 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	20 00	—	20 00	40 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,200	1.8	4,100	2.1	4,210	1.9	2,160	5.2	101 76
通期	81,000	2.2	6,780	4.3	7,000	3.7	3,600	1.4	169 60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3 「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 - 社、除外 - 社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	22,007,363株	22年3月期	22,007,363株
23年3月期1Q	777,344株	22年3月期	780,344株
23年3月期1Q	21,227,769株	22年3月期1Q	21,223,899株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
販売の状況	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

医療業界は、国民医療費が高齢化の進行や医療技術の進歩を背景に過去最高を更新する中で、医療の質の向上や効率的な医療の実現に向けた各種制度改革が実施されています。

当期の受託臨床検査業界は、2年毎に実施されている診療報酬改定の年度に当たり、検体検査に係る保険点数(公定価格)は、項目別には遺伝子検査が大幅に引き上げられた半面、ルーチン検査である生化学的検査の包括項目(マルメ)については、約5%引き下げられました。院内検査に係る検体検査管理加算については、大規模病院における検査体制の評価として、検体検査管理加算(IV)が新設されました。

こうした環境の下、当社グループは、臨床検査事業につきましては、引き続きクリニック市場の開拓を図ると共に、大型施設へのFMS/ブランチラボ方式(検査機器・システムなどの賃貸と運営指導/院内検査室の運営受託)による提案営業により、事業基盤の拡大を図りました。こうしたことから当四半期の検査数量は順調に増加し、同事業の売上高は前年同期比2.7%増加しました。利益面においても、増収と数量効果等により粗利益率が改善し増益となりました。また、BML総合研究所(埼玉県川越市)においては、検査受託体制の合理化を推進すべく、細菌検査・EIA検査の更なる自動化及び検査工程の改善などに注力しています。

その他検査事業に属する食品衛生事業につきましては、前期3月に㈱キュー・アンド・シーの株式を一部売却し同社が連結対象子会社から外れたことから、同事業の売上高は6.3%減少しています。一方、㈱BMLフード・サイエンスが、細菌検査の受託増加とコスト削減により業績が回復基調となり、損益も前年同期の赤字から黒字転換しました。

医療情報システム事業につきましては、診療所版電子カルテ「メディカルステーション」の新規導入件数が前年同期を下回りましたが、ハードの保守期限を迎える既存ユーザーについて、サーバーを中心としたリプレースが順調に推移しました。事業全体の売上高としては、保守料収入の増加もあり、前年同期比9.2%増加しました。

その他事業につきましては、SMO※/CRO※を営む㈱アレグロが、予定していた治験の実施延期などから受託が低調に推移し、売上高で前年同期比64.5%減少し、損益面でも依然赤字が続いています。

これらの結果、当第1四半期の連結業績は、売上高20,828百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益2,340百万円(前年同期比14.4%増)、経常利益2,385百万円(前年同期比12.9%増)、四半期純利益1,290百万円(前年同期比12.3%増)となりました。

※SMO:特定の医療機関(治験実施施設)と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関をいう。

※CRO:医薬品の開発において、製薬メーカーが行なう治験に関わる様々な業務の全て又は一部を代行・支援する機関をいう。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の連結財政状態は、総資産68,280百万円(前年度末比762百万円増)、純資産45,239百万円(前年度末比720百万円増)、自己資本比率65.2%(前年度末比0.4%増)となりました。主な増減科目は、資産では、流動資産が、売上債権等の増加により352百万円増加、固定資産が、リース資産等の増加により410百万円増加しました。また、純資産では、利益剰余金が、755百万円増加しました。

## ②連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ4,344百万円増加し、15,595百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,026百万円の資金収入（前年同期比344百万円減）となりました。これは主に、法人税等の支払額が276百万円増加したことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、921百万円の資金支出（前年同期比85百万円減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、654百万円の資金支出（前年同期比216百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払が、159百万円増加したことなどによるものです。

## (3)連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間並びに通期の連結業績予想につきましては、期初の予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ2百万円、税金等調整前四半期純利益は82百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は148百万円でありませ

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,292	16,840
受取手形及び売掛金	15,120	13,933
商品及び製品	203	198
仕掛品	416	405
原材料及び貯蔵品	1,129	1,103
その他	1,538	1,885
貸倒引当金	△25	△44
流動資産合計	34,675	34,323
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,755	9,859
土地	10,805	10,805
その他(純額)	5,617	5,117
有形固定資産合計	26,179	25,781
無形固定資産		
その他	3,164	3,173
無形固定資産合計	3,164	3,173
投資その他の資産		
その他	4,299	4,289
貸倒引当金	△38	△51
投資その他の資産合計	4,260	4,238
固定資産合計	33,604	33,194
資産合計	68,280	67,517
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,602	8,924
短期借入金	930	930
未払法人税等	647	1,798
その他	6,103	6,211
流動負債合計	17,283	17,864
固定負債		
退職給付引当金	3,503	3,440
役員退職慰労引当金	141	176
その他	2,112	1,517
固定負債合計	5,758	5,134
負債合計	23,041	22,999

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	32,965	32,210
自己株式	△1,258	△1,263
株主資本合計	44,398	43,638
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94	112
評価・換算差額等合計	94	112
新株予約権	55	55
少数株主持分	690	711
純資産合計	45,239	44,518
負債純資産合計	68,280	67,517

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	20,351	20,828
売上原価	12,500	12,610
売上総利益	7,851	8,218
販売費及び一般管理費	5,805	5,878
営業利益	2,046	2,340
営業外収益		
受取配当金	27	15
不動産賃貸料	12	—
その他	43	56
営業外収益合計	83	71
営業外費用		
支払利息	8	16
不動産賃貸原価	5	—
その他	3	10
営業外費用合計	16	26
経常利益	2,112	2,385
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6	20
受取保険金	18	—
株式割当益	—	15
その他	0	0
特別利益合計	25	35
特別損失		
固定資産除却損	40	21
弔慰金	50	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	80
その他	12	3
特別損失合計	102	105
税金等調整前四半期純利益	2,034	2,314
法人税、住民税及び事業税	548	717
法人税等調整額	299	274
法人税等合計	847	991
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,323
少数株主利益	38	32
四半期純利益	1,149	1,290



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,034	2,314
減価償却費	985	1,049
のれん償却額	57	23
退職給付引当金の増減額(△は減少)	83	62
支払利息	8	16
固定資産除却損	40	21
売上債権の増減額(△は増加)	△1,121	△1,186
たな卸資産の増減額(△は増加)	△95	△42
仕入債務の増減額(△は減少)	551	678
未払消費税等の増減額(△は減少)	178	△73
その他	148	△49
小計	2,871	2,813
利息の支払額	△7	△16
法人税等の支払額	△1,557	△1,834
その他の収入	63	62
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,370</b>	<b>1,026</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△749	△749
無形固定資産の取得による支出	△169	△162
貸付けによる支出	—	△16
貸付金の回収による収入	2	—
その他	△90	6
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,007</b>	<b>△921</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5	—
配当金の支払額	△371	△530
その他	△61	△123
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△437</b>	<b>△654</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74	△549
現金及び現金同等物の期首残高	11,325	16,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,251	15,595

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)  
該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

検査区分		前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	8,479	41.7	8,717	41.9	2.8
	血液学的検査	1,692	8.3	1,758	8.4	3.9
	免疫学的検査	4,263	21.0	4,351	20.9	2.1
	微生物学的検査	1,107	5.4	1,156	5.5	4.5
	病理学的検査	1,283	6.3	1,306	6.3	1.9
	その他検査	1,870	9.2	1,911	9.2	2.2
	その他検査事業	734	3.6	688	3.3	△6.3
	検査事業小計	19,430	95.5	19,890	95.5	2.4
医療情報システム事業		828	4.1	904	4.3	9.2
その他事業		92	0.4	32	0.2	△64.5
合計		20,351	100.0	20,828	100.0	2.3

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。